



小中学生版

Vol.11



発行所 〒329-0101
栃木県下都賀郡野木町大字友沼 5840-7
野木町社会福祉協議会
(この新聞は共同基金分金事業で発行されています)
平成28年2月25日発行

みんなで考える福祉教育

地域福祉新聞



もくじ

- ★友沼小学校……………P2
- ★野木小学校……………P3
- ★佐川野小学校……………P4
- ★南赤塚小学校……………P5
- ★新橋小学校……………P6
- ★野木中学校……………P7
- ★野木第二中学校……………P8
- ★協力ボランティア……………P9
- ★夏の思い出……………P10

7月29日(水)
小学生チャレンジスクール

手話体験の様子

野木町社会福祉協議会では、町内の小・中学校7校を「学童・生徒のボランティア活動普及事業」協力校に指定し、各校の福祉教育担当の先生の方と社会福祉協議会、また、日頃より福祉教育に携わっているボランティアの方々を交えて年3回連絡会議を開催しています。連絡会議では、各校における福祉教育の計画や社会福祉協議会が行う福祉教育事業、地域福祉新聞の発刊など意見交換を行っています。

ここでは、平成27年度に行われた各協力校の事業や、児童・生徒の感想文を紹介するとともに、福祉教育に協力していただいているボランティアの方々、社会福祉協議会で開催した講座の様子を掲載いたしました。地域福祉新聞をきっかけに、身近な方々と福祉について話し合ってみてください。



連絡会議の様子

友沼 小学校

友沼小学校では、4年生の「総合的な学習の時間」に福祉の学習をしています。ハンディキャップのある方が置かれている状況や環境、障がいに対する理解を深めることをめあてにしたハンディキャップ体験では、「アイマスク体験」「車いす体験」「高齢者疑似体験」を実施しました。またチャレンジフェスティバル(学校祭)では、「虹の会」の皆様から手話を教えていただいたり、耳が不自由な方からお話を聞いたりして、貴重な経験をすることができました。

アイマスク体験

4年 小島 華留

ハンディキャップ体験の中で特に心に残ったのは、アイマスク体験です。何も見えないので、つえを持って友達に教えてもらいながら歩いたけれど、とてもこわかったです。この体験をして、障がいがある方は、こんな風にこわい思いをすることがあるのだと思いました。



4年 石井 風雅

一番大変だと思ったのは、アイマスク体験です。アイマスクをして一年教室近くの水道まで行って、体育館にもどりました。つえがないと転んでしまうし、段差を教えてくれる人がいないと、大変だと思いました。もし、目の不自由な方が交差点などにいたら、声をかけたいです。



車いす体験

4年 成海 知哉

車いす体験では、マットを乗り越えようとしたけれど、なかなか越えられず、友達に押ししてもらいました。車いす



の方にとって、押ししてくれる人がどれだけ必要なの分かりました。車いすを押す役にもなりましたが、押すのも大変つかれました。どれもむずかしかったけれど、足の不自由な方の気持ちが分かりました。



4年 小野田 華音

足が不自由な方になったつもりで車いすに乗って、友達に押ししてもらいました。進むとガタガタし、下り坂をおりたときは落ちそうで、とてもこわかったです。段差を下りるときもむずかしかったです。この体験をして、手足が不自由な方がいたら、親切にしたいと思いました。



高齢者疑似体験

4年 丹羽 輝

ぼくは高齢者疑似体験をして、高齢者の方は体が重かったり周りが暗く見えたりしていて、大変そうだと思います。ぼくがもし、体を思うように動かせなかったら、つらいなと思いました。高齢者の方は、がんばっていますと思いました。



4年 田口 日和子

ハンディキャップ体験をして、高齢者の方達はすごいと思いました。この体験をして、目が見えにくかったり体が重かったりすると、どれほど大変なの分かりました。

もしわたしが高齢者疑似体験のような状態で毎日過ごすとしたら、体がもたなくなりそうです。困っている高齢者の方がいたら手助けしたいです。



手話体験

4年 菅沼 寧音

テレビで手話をやっているのを見て、むずかしそうだけどやりがいがありそうだと思います。でも、学校で実際にやってみたら、思った以上にむずかしくて、びっくりしました。耳に障がいがある方大変さがわかりました。聞こえるということは、ありがたいことだと思いました。



4年 山口 裕生

一番心に残ったのが手話体験です。「こんにちは」「ありがとう」などの、あいさつの手話を教えてもらいました。最初はなかなか覚えられなかったけど、だんだん覚えてきたのでうれしかったです。耳が不自由な方は、もっとたくさんの手話を覚えなくてはいけなくて大変だと思いました。耳が不自由な方に会ったら手話で話してみたいです。



野木 小学校

野木小学校では、4年生の総合的な学習の時間に、アイマスク体験や耳や目の不自由な方との交流学習を行ったり、学校の近くにある「こもればの舎」を訪問して、お年寄りとふれあったりすることで「人にやさしいことって」を考える学習をしました。



おおしま じゆんの すけ
4年 大島 惇之介
ぼくは「ももたろう」を読みました。「読むのじょうずだね。」と言われました。プレゼントのヒョウタンのことを話すと「私の小さい頃はヒョウタンに水を入れて遊んだよ。」と話してくれました。

おじいさん
「ももたろう」を
読んであげたら
「なつかしいよ。」と
喜んで



ありがとう
何度も言われたこの言葉
うれしくなったよ
私まで
しひや ゆうり
4年 渋谷 裕理



まつだ そら
4年 松田 青空
ぼくは「だじゃれ植物園」を読みました。ぼくの言い方がおもしろかったのか、たくさん笑ってくれたり「なるほど。」とうなずいてくれたりして、うれしかったです。

おじいさん
だじゃれの本で
笑ったよ



おじいさん
長生きしてね
元気でね
まつもと だいき
4年 松本 大輝



お年寄り
本を読んだら
にこにこわらってくれて
うれいな
さやま あやの
4年 佐山 彩乃



やました りくと
4年 山下 陸人
体や口が不自由な方がいることに気付きました。ふりふりゲームではお年寄りと一緒に棒を振りました。歌を歌っているときに、お年寄りの方も歌ってくれたのでうれしかったです。

「おむすびころりん」の
本の読み聞かせ
笑ってくれたよ
おじいさん



喜んでくれた
ぼくが作った
ひょうたん色紙の
アレゼント
やまざき みりゆう
4年 山崎 美琉



総合的な学習の時間
「ひとにやさしいことって」の学習で、
こもればの舎を訪問したときの様子です。

♪合唱♪

「はじめの一步」「エーデルワイス」「とんび」「もみじ」

♪リコーダー演奏♪

「もののけ姫」他

自分たちで育てたひょうたんに、
絵を描いたひょうたん人形と
メッセージを書いた色紙をプレゼントしました。
その後、自分たちで選んだ絵本の
読み聞かせをしました。

ふなばし さなみ
4年 船橋 小波
歌を歌っているときに、なみだをうかべている人がいました。こもればの舎を訪問して、みなさんの笑顔がみられてよかったです。また、機会があったら行きたいです。



「こぶとりじいさん」の
読み聞かせ
私もおじいさんも
心ほわっ



3ねこの本の
読み聞かせ
1ページごとに
うなずく おじいさん
うちだ ありさ
4年 内田 有咲



めがねの本
ページめくるたび
笑ってくれて
うれいな



お年寄りに
もみじの歌のアレゼント
笑顔になって うれいな
たかはし みさき
4年 高橋 美咲

だじゃれの本の
読み聞かせ
7スツとわらった
おじいさん
かとう あおと
4年 加藤 碧人



しまだ あさき
4年 島田 愛叶
読み聞かせは、笑顔でうなずきながら聞いてくれたのでとてもうれしかったです。おじいさんおばあさんといっしょに楽しめてよかったです。

本を読む声に
うなずいてくれた
おじいさん
なかむら まゆ
4年 中村 真優



お年寄り
ずっと笑って
うなずいてくれた
私の読み聞かせ



佐川野 小学校

佐川野小学校では、みんなにとって「住みやすい町」とはどういう町なのかを一人一人が自分の事として考えるために、4年生の総合的な学習の時間に5つの福祉体験学習をしています。「高齢者疑似体験」「点字体験」「手話体験」「アイマスク体験」「車椅子体験」をした4年生の感想を紹介します。

また、10月24日(土)の佐川野っ子祭りでは、地域の方に教えて頂きながら5つの物作り体験をしました。今年は、「竹とんぼ」「缶ぼっくり」「絵手紙」「折り紙」「お手玉」「テープ細工」の中から、自分でやってみたい物作り体験を選び、楽しく活動しました。

高齢者疑似体験

かなはら はると
4年金原 遥人

高れい者ぎじ体験をして大変だなと思いました。それは、ご飯を食べることです。はしで食べ物をつかむことがむずかしかったです。高れい者の大変さが分かったので、今後はやさしくしたいなと思いました。



総合的な 学習



点字体験

しらいわ みら
4年白岩 未楽

点友会の方に点字を教わりました。点字を覚えることは、とても大変でした。これからは、目が不自由な人がいたら、自分から声をかけてあげたいです。



手話体験

たての たまき
4年館野 珠季

わたしは、手話で自己紹介をしました。最初はむずかしくてできませんでした。でも、練習をずっとしていたらできました。耳が聞こえない人は大変なので、もっと手話ができるようにして手話で話したいです。



車いす体験

かきぬまりゆうせい
4年柿沼 隆誠

車いすの体験をしてみても、段差が少しでもあると、スロープでも上り下りがとても大変でした。車いすの人がこまっていたら、これからは、手伝いたいと思いました。



アイマスク体験

くろす てっぺい
4年黒須 暉平

アイマスクをつけると、どこに何があるのか分からなくなり、目の不自由な人の気持ちがよく分かりました。今度見かけたら、助けてあげたいなと思います。

缶ぼっくり作り

ほさかりゆうじ
6年保坂 竜二

ぼくは、初めての缶ぼっくり作りにわくわくしていました。ボランティアの方々、優しく分かりやすく教えてくださったので、上手に作る事ができました。うれしかったです。



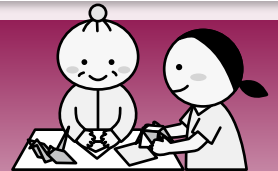
おり紙作り

いのうえ ゆあ
3年井上 唯愛

地いきの方に教えてもらいながら、おり紙でかさとかまを作りました。かさは、おり紙を14まいも使ったので、おどろきました。きれいにできて、うれしかったです。



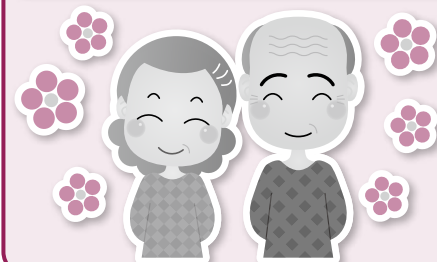
佐川野っ子祭り 物作り体験活動



お手玉作り

こいけ かける
2年小池 駈

ぼくは、佐川野っ子まつりで、お手玉を作りました。さいしょは、むずかしかったけど、おばあちゃんたちに教えてもらったから、うまくできました。たのしかったです。



南赤塚 小学校

南赤塚小学校では、4年生が総合的な学習の時間に福祉についての学習を行っています。人権強調週間には、全校児童で講話を聞き、身近な福祉について考えました。また、毎年たくさんの児童が夏休みに開催される「小学生チャレンジスクール」に参加しています。



総合的な 学習の時間

「虹の会」「野和の会」の皆様から、手話を教えていただき、お話を聞くことができました。「点友会」の皆様からは、点字の意味や点字の打ち方を教えていただきました。実際に体験をしたり、お話を聞いたりして、耳や目の不自由な方の気持ちや自分にできることは何かを考えることができました。

色々な手話を 教えて いただきました

目の不自由な方を見かけたら、点友会の方に教えていただいたことを思い出したいです。困っている人がいたら手助けしたいと思います。

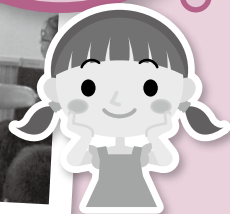
しぶや このか
4年 渋谷 好花

自分の名前を 点字で打ち、 名前シールを 作りました



色々な手話を覚えることができました。耳の不自由な方にとって手話は大切なものだということが分かりました。

すなが たくみ
4年 須永 拓海



人権集会の 講話

りんごの皮むきをして
くれました



人権強調週間の講話として、目の不自由な佐藤佳美さんからお話を聞きました。実際にりんごの皮をむいてくれたり、点字の絵本の読み聞かせをしてくれたりしながら日常の暮らしについて話をしてくださいました。

一緒に
手遊びも
しました



貴重なお話を
ありがとうございました



ふせぎ かほ
6年 伏木 夏帆

障がいがあるからといって、できないことが多いのではなく、私たちと同じように、あるいは私たち以上にできることが多いということを実感しました。人はみんな、苦手なことやできないことがあるのは当たり前で、困っていたら助け合うのも当たり前のことです。佐藤さんのお話を聞いて、障がいのあるなしにかかわらず、みんながお互いを思いやって助け合うことが大切なのだと思います。

小学生 チャレンジスクールに 参加して

よし えりょうま
3年 吉江 凌馬

バスケット用の車イスは、普通のとは違ってタイヤが斜めになっていたの、びっくりしました。

さの かほ
4年 佐野 花歩

世界には障がいをもつ人がたくさんいることが分かりました。困っていたら助けられるようにしたいです。

あべ こうせい
6年 安部 晃生

高齢者疑似体験では、約80歳の人の体を体験しました。腰など体が痛くなったり、いろいろなところが不自由になったりすることが分かりました。



新橋小学校では、4年生の総合的な学習の時間に福祉についての学習をしています。6年生の総合的な学習の時間には、様々な伝統文化体験を行いました。例年、地域の福祉ボランティアの協力を得て、体験学習を充実させています。また、4年社会科「昔の暮らし」、1年生活科「昔のあそび」では、地域の敬老会との交流も続いています。お年寄りに話を聞いたり、ふれ合ったりしながら、たくさんのことを学ぶことができました。

人権ビデオ 『桃色のクレヨン』を見て

☆人権週間には、全校で人権ビデオを視聴しました。一人一人が、「友達と仲良くすること」「いじめや差別のない学校にすること」を真剣に考えました。

みなこちゃんとゆきちゃんがなかよくしたのを見て、みんなも楽しそうでした。わたしもみんなといっぱいなかよくしたいです。

1年 館野 りん

みんな同じ人間。しょうがい者をくべつしたり、さけたりしない。だって、自分がその人の立場だったらいやだから。自分がされていやな事はしない。相手の気持ちを思って行動しようと思う。

3年 佐々木 美歩

ともだちのことをかってにきめつけることは、だめだとおもいました。うそもだめだなおもいました。いつもきをつけて、ともだちとなかよくしたいです。

1年 林 ふうら

自分のあたり前が他人にはあたり前でないことがあります。また、人にはそれぞれ個性があって、良い所も悪い所もあります。その両方を受け止められる良い友達でありたいです。

4年 鈴木 春菜

人を大切にする気もちや、自分も大切にするこのいみがわかりました。しょうがいのある人もみんな同じ人間です。このビデオを見たら、そういう気持ちがわかるようになりました。

2年 加納 あづさ

ビデオの中で障がいのある人を特別扱いしているような場面があって、残念に思いました。ぼくの弟は足が不自由ですが、弟の友達はみんな優しく、弟を大切にしてくれています。

5年 渡邊 新大

ゆきちゃんがみんなにいろいろなことを気づかせてくれて、みなこちゃんは、まえよりも友だちにやさしくなったと思います。

2年 吹上 まい花

ふだんの生活から常に言葉づかいに気をつけて、態度を改めたいと思いました。町で出会ったしょうがい者をさけたり、いやな目線で見たりすることは絶対にしないと決めました。クラスでも協力や思いやりの心をもって過ごします。

5年 小野崎 陽菜

みなこさんのお母さんが「しょうがいのある人だからといって、遊ばないのはやめた方がいいと思うよ。」と言ったところが心にのこりました。しょうがいのある人にはできないこともあるけれど、もし出会ったらやさしくして、いっしょに遊ぼうと思いました。

3年 坂本 紗弥

人の個性を決めつけたり、否定したりしてはいけなくて分かりました。自分の思い込みだけで人の個性を悪い方に考えたりせず、優しく接していくことを心がけて生きていきたいです。

6年 堀江 紗羅

☆4年社会『昔の暮らし』☆

☆昔の衣食住について勉強しました。歴史についても貴重なお話を伺えました。



4年 稲葉 健太

昔の暮らしは、とてもたいへんだと思います。せんたくは、せんたく板とたらいを使いました。せんたく板でこすり洗いをしてよごれを落とす工夫は、すごいと思いました。

4年 栗野 涼香

私は、戦争でアメリカと戦い、日本が負けをみとめて戦争が終わった話を聞きました。そんなことで命を落とした人がかわいそうです。あらためて、戦争のこわさを知りました。



昔の人々の
努力と知恵に
感心しました!?

☆6年総合『伝統文化体験』☆

6年 富永 琴子

初めてお琴を弾きました。とてもやさしい音色できれいでした。日本の伝統楽器はすてきだなと改めて思いました。



6年 棚瀬 志乃

茶道はいろいろな作法のもとで行うので、とてもおごそかでした。礼儀もしっかり習うことができ、よい体験になりました。

6年 青木 みなみ

生け花には決まりごとが多かったけど、自分らしく花を生けられたので、とても楽しい体験になりました。



6年 島田 聖久

水墨画の体験をして、墨だけで絵を描くことの楽しさや難しさを知りました。さらに、墨だけで描く絵の奥深さを感じました。

野木中学校では、福祉委員会を中心に、ほぼ毎月ごとに古紙・アルミ缶回収を実施しています。潤心祭では、地域のお年寄りと一緒にグラウンドゴルフを楽しみ、交流を深めたり、生徒会で大雨被害の義援金を募る募金活動を実施したりしました。また、潤心祭で発表した和太鼓の演奏を虹の舎でも演奏するなど、様々な活動を通して地域に根ざした活動を行うことができたと思います。

《古紙回収》

3年 ^{ささき} 佐々木 くるみ

福祉委員会の仕事は、募金活動や古紙・アルミ缶回収です。募金活動では、みどりの羽根募金や心のとも運動など学校の枠を越えてたくさんの人のために呼びかけてきました。

古紙・アルミ缶回収は毎月2日間に分けて実施しています。どのクラスも達成率100%を目標にクラス一丸となり協力してくれています。委員会のみなをはじめ、先生方や野木中生の協力で今年度もたくさんの古紙・アルミ缶を集めることができました。この古紙・アルミ缶の収益で野木中の役に立てることを誇りに思っています。

私は3年間福祉委員として活動して、ボランティアの素晴らしさや楽しさを実感しました。これからも古紙・アルミ缶回収などのボランティア活動を通して野木中生にボランティアや協力の大切さをたくさん感じてほしいです。



《潤心祭・高齢者接待》

3年 ^{こばやし} 小林 ^{れん} 蓮

私たち「ものづくり講座」では、潤心祭当日に地域のお年寄りの方々をお招きし、一緒にグラウンドゴルフを楽しみました。私は、グラウンドゴルフを体験するのは2回目だったので、ルール等の心配はありませんでしたが、お年寄りの方々とうまくコミュニケーションをとることができるか不安でした。しかし、みなさんととても元気で明るく色々な話を聞かせてくださり、とても楽しく過ごすことができました。普段、お年寄りの方々と交流する機会があまりないため、とても貴重な体験をすることができました。これからも、地域の方々との交流を深めていきたいです。



《虹の舎・和太鼓》

3年 ^{ささかわ} 笹川 ^{はるき} 晴揮

私は、3年間連続で和太鼓講座を選びました。特に3年のでることができた八丈は、3年間和太鼓を続けてきて、一番よかったですと思います。そして、私たちは「虹の舎」で行われる収穫祭で和太鼓を演奏することになりました。野木中の潤心祭で演奏した感覚とは、全く違いました。外は明るく、和太鼓を叩いたときの音の響き方など全く違いました。私は受験生なので、潤心祭が終わった後和太鼓の練習をしていなかったのも、とても不安でした。しかも、思っていた以上に観客の方がたくさんいらっしゃいました。しかし、潤心祭に向けて一生懸命練習していたので、あまりミスすることなく本番を終えることができました。演奏が終わった後「虹の舎」に見に来てくださった方から大きな拍手をいただいた時は、和太鼓をやって良かったと思います。また、帰る途中でも「今日はわざわざ来てくれてありがとう。とても上手だったよ。」と言われとても嬉しかったです。

最後に、私は和太鼓講座に入ることができて、とても良い経験ができました。また、とても大切な仲間に出会うことができました。そして、この大切な経験を今後の生活に生かして行きたいと思います。



《募金活動》

3年 ^{はせべ} 長谷部 ^{あつや} 篤哉

今年も私たち野木中生徒会は、野木町の貴重な文化財であるホフマンれんが窯の補修工事が完了したこともあり、大雨被害の義援金を募る募金活動を10月の潤心祭で行いました。

昨年同様、直接呼びかけをしながら活動をしたので、多くの方が募金に協力してくださいました。また、「ごろうさま」や「おねがいします」と多くの人が声をかけながら快く募金してくださいる姿を見て、地域の方の温かさを肌で感じました。

私たちは、募金を通して、地域のつながりや支え合いに触れることができました。来年の生徒会にもこのような貴重な体験をして欲しいと思います。そして、今年よりも多く募金が集まるよう頑張ってください。

募金をしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

野木第二 中学校

野木第二中学校では、6月の「ひまわり荘」訪問で、お年寄りの皆さんと大きな竹2本に七夕の飾りつけを楽しむことができました。また、8月のOne dayボランティアスクールでは、宇都宮市の「とちぎ福祉プラザ」において、救急手当(AED)と車いすバスケットボールを体験してきました。10月には、「輝光祭」においてひまわり荘の方々を招待して、楽しい時間を過ごすことができました。このことは、貴重な体験となり、生涯学習及び地域に根ざした福祉活動を行っています。

ひまわり荘を訪問して

3年 須加 遥香

6月30日、私は福祉委員長として、七夕の飾り付けをしにひまわり荘へ行きました。見たこともないくらい大きな笹に、二中の個別学級のみんが作った、かわいらしい飾りをつけました。飾り付けをしていると、おじいさん、おばあさんが何人も自分から飾り付けを手伝ってくれ、楽しんでくれたので、とても嬉しくなりました。また、飾りの中には施設の方の願いごともあり、丁寧に飾りました。ひまわり荘へ行くまでは、とても緊張しましたが、飾りをつけ終わると、施設の方々から拍手を頂き、笑顔がたくさんあったので、すがすがしい気分になりました。この経験を生かし、福祉委員として人々を笑顔にする活動を、積極的に行っていきたいです。



One Dayボランティア スクールに参加して

2年 長瀬 有里加

私は、野木第二中学校の福祉委員としてこのボランティアに参加しました。この経験によって、私はいろいろなことを学ぶことができました。午前中行われたAEDの講習会では、人を助ける方法を学びました。今まで私は、一度中学校でAEDの講習を受けたことがありました。しかし、今日いざやってみると、忘れてしまったり、うまくできなかつたりしてしまいました。あの時はできた気になっていたけれど、今日この機会にもう一度確認することができてよかったです。この経験が生かされる場面は、できるだけ来て欲しくはないです。しかし、もしもの事があつたとき、私にも命を救えるということを出し、勇気と自信を持って実践したいと思います。私たち一人一人が正しい処置の仕方を知ること、尊い命が助かるかもしれないと思うと、このことをみんなに伝えていかなければならないと思いました。次に学んだことは、車いすの人について学びました。車いすの生活を送っている人から、日々の生活の話や実体験を聞くことができました。その話を聞いていると、私の障がいを持っている方への意識が少し変わりました。今まで私は、車いすの方は自分でできることがほとんどなくて、人にずっと頼っているのだと思っていました。しかし、その方は今一人暮らしをされていて、車の運転・お風呂・小さな段差を乗り越えることなど、自分の力でたくさん

のこつを一生懸命こなしているということを知りました。障がいを持っている人は、何々ができない、やってあげよう、と決めつけるのではなく、この人はこんなことができる、けどやってあげようかな、というぐらいがちょうどいいのだと思いました。最後の車いすバスケットボールでは、実際に体育館で体験できました。このスポーツ体験は、障害を持った方への理解を一層深めるきっかけとなりました。今回、このワンデイボランティアに参加して本当によかったです。



輝光祭ひまわり荘 接待をやってみて

1年 猪瀬 慶仁

僕は輝光祭の時、ひまわり荘接待をして思つたことがあります。一つ目は、お年寄りと一緒に動いてみると、とても大変なことがたくさんあるんだなと思いました。まず、車いすで動いていると狭いところが通りにくくとても大変でした。2つ目は、耳が遠くて大きな声を出さないと聞こえないということです。僕は大きな声を出すことが、あまり得意ではありません。苦手な方です。そのためか、今回担当した人とあまりお話ができませんでした。それでも、とてもよいことができました。それは、昔の遊びを楽しめたということです。お手玉やあやとり、だるま落としで遊んで、ひまわり荘の皆さんもとても楽しそうでした。昼食も一緒に食べて、お話もできました。今回担当した方が帰るときに「ありがとう」と言ってくれました。その言葉は、僕の心に一番残りました。

1年 秋葉 壮太

僕は、輝光祭のひまわり荘接待係になってよかったですと思いました。僕は積極的に車いすを押したり、話しかけたりしてとても楽しかったです。僕の家には、おじいちゃんとおばあちゃんがいます。だからなんとなくこれを話したら答えてくれるかなあと思って、いろいろなことを話しかけました。でもわからないことが多くて、あまりコミュニケーションがとれませんでした。しかし、このコミュニケーションを取ることをこれからしていきたいと思いました。僕は、このひまわり荘接待係を通してたくさん



2年 小林 建太

私は今回の経験を通して、お年寄りとお話することの大切さを学びました。私が話しかけたり一緒に遊んだりすると、とても喜んでくれたので私もとても嬉しい気持ちになりました。私は、自分のおばあちゃんの家が遠いということもあり、今まであまり話すことができませんでした。これからは長期休みを利用して、おばあちゃんの家に行く回数を増やして、たくさん話したり遊んだりしてみようと思います。



手話サークル「虹の会」

滝澤 智津子

手話を「広めよう。ろう者との交流をもとう。」とはじまった会も、30年近くたち、わたしたちの想いは確実にひろがっているようです。

土曜日の「虹の会」、月曜日の「野和の会」、火曜日には有志が集い、勉強会をおこなっています。

小学校や中学校では、福祉の勉強の一環として手話講習が行われたり、夏休みのボランティアスクールで学んだり、在学中に手話にふれる機会も増えています。

子どもたちは、覚えるのがとても早くビックリしてしまいます。

どこかで耳の聞こえない方を見かけたり、手話に出会うことがあった時、『あ、〇〇学校でやった!!』と思い出し、気軽に話しかけたり、それをきっかけに手話の勉強をはじめてくれるのを楽しみにしています。

耳の不自由な方を見かけたら、近寄って、手を振ったり、肩をたたいて合図して「こんにちは」とあいさつしてくれる子どもたちが増えていくことを願って、これからもお手伝いさせていただきたいと思います。



手話サークル虹の会

活動日/毎週土曜日

活動時間/午前10時～正午

活動場所/ホープ館(町老人福祉センター)

年会費/1,000円

手話サークル野和の会

活動日/毎週月曜日

活動時間/午前10時～正午

活動場所/ホープ館(町老人福祉センター)

年会費/1,000円

点友会「のぎ」

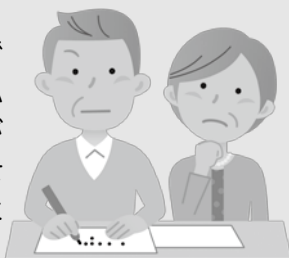
小杉 邦子

現在、点友会では、町お知らせ版・時刻表・暦・名刺・小説・絵本などの点訳、小中学校での点字学習指導、研修会、小山のサークルとの交流など活動しています。

私達が長い間、会に在籍してられるのは、北野さん、三輪さん、小山の点字サークル「虹の和会」の皆さんからもらう、元気で明るく、ホットする暖かさがあるからです。

視覚障がい者としてではなく、同じ人という気持ちでお付き合いをしています。

先日、南赤塚小学校での人権講演会で宇都宮から来られた佐藤さんのお話で「私は生まれた時から目が見えないのでこれが普通なんです。かわいそうではありません。」と何度も言われたのがとても印象に残っています。



活動日/第2・4火曜日

活動時間/午前10時～正午

活動場所/ホープ館(町老人福祉センター)他

年会費/500円

朗読の会 のぎく

田中 五十鈴

「のぎく」は生まれつきや病気、事故などで目が見えなくなった人に町からのお知らせや物語などを声に出して伝える音訳ボランティアです。

聞いている人に正しく内容を伝える。

毎年夏休みに「小学生チャレンジスクール」としてボランティア体験があります。

お話の場が想像できるように表現することを体験します。

なかなか難しいことですが講習の後録音したものを聞いてみると、みなさんが頑張って練習するのでとても上達してしっかり読むことができるようになります。

初めて自分の声を聞いて「ワー」「キャー」と、歓声があがります。

目に障がいのある人にとってはとても大切なボランティアだと思います。

今度の夏休みには皆さんも音読ボランティアを体験してみませんか？



活動日/第1・2・3水曜日

第4金曜日

活動時間/午後1時30分～午後4時

(第1水曜日は午前9時30分～)

活動場所/ホープ館(町老人福祉センター)

図書館 他

年会費/500円

夏の思い出

小学生 チャレンジスクール 7/28(火)~7/31(金)



目が見えないって
大変!

ハンディキャップ体験



うしさんとバルーンアート

ボランティア サマースクール 7/27(月)~7/31(金)

手話を覚えるのがたいへん



福祉講座



福祉講座



「一歩」を
ふみだす大切さが
分かった!!



共同募金についての学習
& 地域に設置する
募金箱づくり



日赤倉庫見学&
救急手当について

車いすバスケットボール体験



ハンディキャップ体験



仕事の
雰囲気を感じられて
勉強になった♪

世代間交流事業



箸・器の竹細工づくり



初体験で勉強に
なったし、楽しかった!



新橋児童館(施設交流活動)



パステル(施設交流活動)



流しそうめん&BBQ



BBQはこの夏一番の
思い出です!

One day 8/7(金) ボランティアスクール



毛布、布団、
非常食が
たくさんあった!



車いす
バスケットボール

もっと
車いすバスケを
したかった



日赤倉庫見学&
救急手当について

